

**総括討論**

## ◎田巻 晃 代議員（花巻農業分会）

私自身は普通教科（保健体育）の教員だが、専門高校の教育実践に憧れていた。花巻農業は地域の厚い期待を担ってそれに応えている。「農で学び農で育ち農で生きる」が校是であり、大変素晴らしいと感じている。日常的に生徒と話をするが、その後ろには保護者がいて、地域の方々がいることを感じている。幼い行動をする生徒もいるが、それを叱る、というよりも指摘をして直させる、よい方向に持って行く、ということが大切だと感じている。われわれがイライラしないで対応することが、生徒や保護者にとってもお互いに快適な学校生活を作り上げる要素の一つではないかと思っている。

グローバル化をかつては肯定的に捉えていたが、今は格差を広げるもの、立場の違う者に対する寛容さを欠くものという風に否定的に考えている。不寛容な社会をなんとかしたい。

また、日本の政治は嘘と隠しごとが多く、信用ができない。国会は、国民を安心させるような高邁な議論を展開して欲しい。岩手高教組は日本の政治の正常化のために何かをしてくれるものと期待している。

私はお金のためにだけ仕事をしているわけではないが、生きてゆかなければならない。賃金改善などのとりくみに感謝している。

また、東日本大震災津波を風化させてはならないと考えている。花農の生徒たちは沿岸被災地に門松を届ける活動などを行っている。そういう支援を続けることが被災地の方にとっても花農生にとっても大切だと思っている。

今日は色々勉強になり、考えさせられることが多かった。ありがとうございました。



## ◎三浦 淳代議員（一関二高分会）

今日来て思ったことをいくつか話しをしたい。個人的な感想だが、修正案、分会支部提出議案の出ない日が来るとは思っていなかった。みんな忙しいのだろうと思う。正直、なかなか分会で議案書審議をする時間が取れないのだろう。分会会議の時間を取っても、なかなか意見が出ないということもある。日教組の副委員長の話の中で、私たちは高度プロフェッショナル制度のもとでずっと働いてきているのだということに納得した。私たち教職員は「好きだから働いている、好き好んで働いている」と見えることが問題なのだろう。そもそも、高プロによって、労働時間が短縮されるというのは考えら

